



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

# 平成26年度 福島県地域医療体験研修《冬》



写真：猪苗代湖と磐梯山

## 地域医療を知るはじめの一步は、福島県の地域医療体験研修で！

福島県では、医学生の方々に、地域の医療現場を実際に、「見て」「聴いて」「感じて」、地域医療への興味をより深めていただくため、地域医療体験研修を実施しております。

県南、会津・南会津、相双の3地域で、医療機関及び住民の皆様にご協力をいただきながら、地域の特色を生かした、ほかでは体験することができない研修を用意しておりますので、お気軽にぜひご参加下さい。



福島県

## 【県南コース】



豊かな自然、歴史、文化のふるさと  
「ひがししらかわ」で

～“地域医療体験”と地域の住民と素敵な交流を～



【期日】平成27年3月11日(水)～12日(木) 1泊2日



訪問診療同行  
(矢祭町にて)

### 研修の概要

#### ○ 研修の趣旨

地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、福島県東白川郡における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらいます。

#### ○ 主な研修の内容

##### 1 地域医療現場の視察

東白川地域等の診療現場を視察します。

##### 2 地域医療に従事する医師との懇談会

地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。

##### 3 地域住民との交流

地域住民との交流を通し、地域の実情について理解を深めます。

### 過去の研修風景



特養老人ホーム食事介助



地域病院視察



医療従事者との懇談会

## アピールポイント

- 1 東北の最南端“みちのくの玄関口”福島県南地域は首都圏から新幹線使用で約2時間です。
- 2 茨城県と栃木県に隣接する東白川郡は、豊かな自然・歴史・文化の里山(ふるさと)です。
- 3 高齢社会と過疎化が進行する地域が求める「医師の人間像」を自分の目で認識してください。

## 地域医療体験研修参加者の声



私は福島県出身です。将来は福島県の地域医療に貢献したいと考えています。鮫川村では、地域の皆様との交流会や健康教室を通して、多くのことを教えて頂きました。「高齢化」「遠方にある病院への通院」等、不安は尽きませんが、印象的だったのが、医療の不便さを感じつつも、皆様が「元気だった？調子はどう？」とお互いに気づかい、朗らかに笑い合う姿でした。「いいお医者様になれるよ」という言葉を頂いた時は本当に嬉しく、また健康への不安を聞きながら、私は既に医療人として頼られていると気づきました。今医師に限らず多くの若い人々は地域を離れ都会へ目を向けがちです。鮫川村の美しい自然や、祭太鼓や笛の音、地域の皆様への親しみは、都会で感じるこのとできない、地域の暖かみでした。この経験を生かし、きっと地域に貢献のできる医師になりたいと思います。

この研修に参加する前の地域医療に対するイメージは、「閉鎖的で、そこで働く医師は激務で心身ともに疲弊している」といった後ろ向きなイメージでした。訪れた金澤医院では、医師、看護師、薬剤師、看護師そして調理師が一つのチームとなり、患者さんに一番適した治療法を模索し、提供していました。これこそが究極のチーム医療の形であるのだと思います。しかし、医療機関同士で協力しあいながら、地域医療の役割を果たしてはいるものの、医療スタッフが不足しているということはまぎれもない事実です。鮫川村内は医師不在の時間帯が生じることもあり、地域住民は常に不安を抱えています。医師の数を増やすのには時間がかかります。地域の医療を充実させるためには、限られた医師の数の中で、無医村を作らないようなシステムを作り、普及させる必要があるのだと感じました。



## 行程表

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊
3月11日(水)	8:30 JR福島駅西口発 9:00 福島県立医科大学発 10:30 JR新白河駅東口発 10:45~11:15 県南保健福祉事務所(オリエンテーション) 13:30~15:30 金澤医院の視察・診療訪問への同行 16:00~17:00 塙厚生病院の視察 18:00~20:30 医療従事者との懇談会・夕食会	朝(×) 昼(○) 夜(○)	矢祭町 「ユーパル矢祭」
3月12日(木)	8:40~9:40 ユーアイホームでの回診同行・見学 10:30~13:00 白河市内等見学・昼食 13:30~16:00 白河厚生総合病院の視察・臨床研修医との懇談会・参加者意見交換会 16:15 JR新白河駅東口着 17:30 福島県立医科大学着 18:00 JR福島駅西口着	朝(○) 昼(○) 夜(×)	

## 【会津・南会津コース】



会津のあかべえ

### 奥会津の地域医療体験研修

～地域医療に必要なことを一緒に考えてみませんか～



【期日】平成27年2月26日(木)～27日(金) 1泊2日



三島町  
森の校舎カタクリにて

### 研修の概要

- **研修の趣旨**  
地域医療に関心を持つ医学生を対象として、奥会津地域の医療の現場視察や住民等との交流を通して地域医療について理解を深める機会とします。
- **主な研修の内容**
  - 1 **奥会津の地域を支える医療の現場を視察します。**  
診療所やそれを支援する病院を視察し、地域医療体制のそれぞれが果たす役割や連携について理解を深めます。
  - 2 **地域住民・医療従事者等との懇談を行います。**  
地域住民からは医療に期待することなどを、地域医療に従事する医師からは体験談などを直接聞き、意見交換を行います。
  - 3 **会津の生活・文化に触れます。**  
郷土料理作り体験などを行い、地域住民の生活や文化について理解を深めます。

### 過去の研修風景



医療機関の視察



診療所での出会い



ディスカッション



餅つき体験

## アピールポイント

今回宿泊する昭和村は、映画「ハーメルン」の舞台ともなったどこか懐かしい山村の原風景が広がる美しい地域です。積雪が2メートルを超えることもある豪雪地帯ならではの住民生活をぜひ体験してください!

- 1 へき地の地域医療体制や医療と関係機関との連携について理解が深まります。
- 2 地域住民や医療従事者から直接声を聞くことができます。
- 3 郷土料理作り体験など、奥会津ならではの体験を準備しています。

## 地域医療体験研修参加者の声



地域医療という言葉聞いて思い浮かべるのは、田舎の道端で私服姿のお医者さんが住民たちと会ったとき、「最近調子どう?」「腰がちょっとね…」といった感じで、親しく健康相談にのったり、住民たちと一緒にになって行事をしたりといった生活を共にするイメージでした。そして、こういうイメージこそが、地域医療としてあるべき姿だと思いこんでいました。実際いくつかの病院を視察したり、数人の先生方にお話を伺ったりしていくうちに、地域医療にはいろんな形があっただけでなく、いろいろな患者との関わり方があっただけでなく、ということに気づきました。“会津地域”の地域医療とは何か?を深く考えることができました。そして、「地域医療」という言葉からイメージを勝手に作りだして、それに近づけていこうとするのではなく、その「地域」で何が必要かを考えて医療を提供していったら、こういう医療の姿になった。というのが「地域医療」なのだということにも気づくことができました。

将来どこで働いているかはまだ見当もつきませんが、今回の経験はどこで働くのにも、非常によい根拠となったように思えます。学んだこと感じたことを忘れず、これからもよりよい地域医療について考えを巡らせていきたいと思えます。

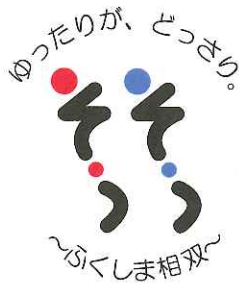
この研修の一番いいところは、同じ機会に規模の大きな病院も小さな病院も見ることができることだと思います。「地域医療」という言葉でイメージするのはおそらく「規模の小さな病院」で、数人の医師ががんばっているという様子が多いのではないのでしょうか?正直申し上げると自分も似たようなイメージをもっていました。しかし、実際は大きな病院と言われるような病院もあって、この2種類の病院が協力しあうことによって、その地域の医療がまわっているのだということが資料やホームページ等でわかるというのではなく、実際に病院を見たり、そこに働く医師の方々のお話を聴くことでわかります。元々、地域医療に興味をもっていたのですが、いまいちそういうものがわかっておらず、なにか体験する機会はないかと探していた私にはとてもありがたい研修でした。住民の方々、患者さんたちと直接お話をすることができたのもよかったです。



## 行程表

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊
2月26日(木)	8:30 JR福島駅西口発 9:00 福島県立医科大学発 11:30~13:30 森の校舎カタクリで郷土料理づくり、地域住民等の懇談・昼食 14:30~16:30 昭和村国保診療所等の視察 18:00~19:30 医療従事者等との懇談・夕食 20:00~21:00 学生によるディスカッション	朝(×) 昼(○) 夜(○)	昭和村「昭和温泉しらかば荘」
2月27日(金)	9:30~10:40 南会津地方消防本部の視察 11:00~12:00 南会津病院の視察、概要説明 12:00~13:00 昼食・課題研究のまとめ 13:00~14:00 医療従事者等との懇談 14:00~15:00 課題研究発表 18:00 JR福島駅西口着 18:30 福島県立医科大学着	朝(○) 昼(○) 夜(×)	

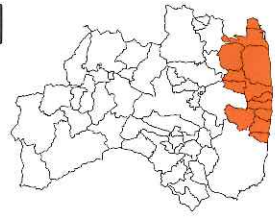
## 【相双コース】



## 「みんなで考えよう!! 地域医療のこと」

～相双地域の“今”を見て！聴いて！

感じて！ください～



【期日】平成27年3月3日(火)～4日(水) 1泊2日



高野病院(広野町)にて

### 研修の概要

#### ○ 研修の趣旨

東日本大震災により県内で最も大きな被害を受けた相双地域の医療の現状や復興の状況について、病院や精神保健活動を行う関係機関等の視察を通して、地域医療への理解を深めていただきます。

#### ○ 主な研修の内容

##### 1 地域医療現場の視察

地域医療の現場の視察を通して、被災地における医療の現状と課題等を学びます。

##### 2 臨床研修医との懇談

相双地域の中核病院で初期研修を受けている研修医から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。

##### 3 地域の精神保健活動の視察

被災者の心のケア等地域住民のこころの健康を守り増進するための取組を学びます。

##### 4 食の安全・安心の取組の視察

もやしの生産過程や放射性物質検査等の見学を通して、食の安全・安心の取組を学びます。

##### 5 津波被災地及び地域の歴史と文化の視察

被災地の現状や復興状況を視察するとともに、地域の歴史と文化を学びます。

### 過去の研修風景



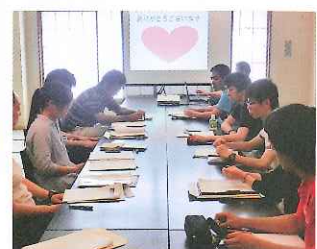
医療機関視察



地域住民との交流



津波被災地視察



研究発表

## アピールポイント

- 1 震災の影響により、今もなお厳しい環境に置かれている相双地域の医療の現状を学ぶことができます。
- 2 被災地域の視察を通して、相双地域の現状を肌で感じることができます。
- 3 相双地域の水産物など旬の味覚を堪能できます。

## 地域医療体験研修参加者の声



相双地方は医師不足が深刻であり、特に若手の先生がいません。なかなか厳しい環境ではありますが、そこには「医療の原点」がありました。「患者さんの話に丁寧に耳を傾け、患者さんの視点に立って診察している」という医師の言葉がとても印象的でした。「患者と医師」という社会的な関係ではなく、温かみがある「患者さんを診る医師」になりたいと強く思いました。

他にも発電所の見学など、相双地方を理解するプログラムがたくさん含まれていました。地域で働く医師はその地域のこともしっかり理解することがとても大切だと思いました。

この研修では、他大学の医学生と触れ合えるのもとてもよかったです。普段あまり考えないこと、気がつかないことにも目を向けることができました。この研修に参加して本当によかったと思います。皆さんも是非参加してみませんか。きっと世界が広がりますよ！

研修に参加する学生は毎回違った人であり、地域医療に対する意識は高い人が多いですが考え方は様々です。そんな学生達と研修で同じ時間を共有すると、参加する度に毎回違った考え方を得ることができます。それは、普段通りの大学生活を送っている中では得難いですが、医師を目指す上で確実にプラスになるものだと思っています。だからこそ、この研修には医学生なら一度は(できることなら何度でも)参加してほしいと思います。地域医療で求められる医師とは、決して「地域」に限定されるものではなく、医師として働く上で必ず求められるものなのだろうと感じました。



## 行程表

日程	スケジュール		食事の有無	宿泊
3月3日(火)	9:00 9:30 9:30~10:15 12:00~12:40 13:10~14:10 14:30~17:30	JR福島駅西口発 福島県立医科大学発 オリエンテーション 南相馬市博物館の視察 絆診療所の視察 南相馬市立総合病院の視察研修医との懇談会	朝(×) 昼(○) 夜(○)	旅館 かんのや
3月4日(水)	8:50~9:10 9:30~10:30 10:45~11:45 13:00~15:30 17:00 17:30	津波被災地の視察 心のケアセンターなごみの視察 成田食品株式会社の視察 課題研究・発表 JR福島駅西口着 福島県立医科大学着	朝(○) 昼(○) 夜(×)	

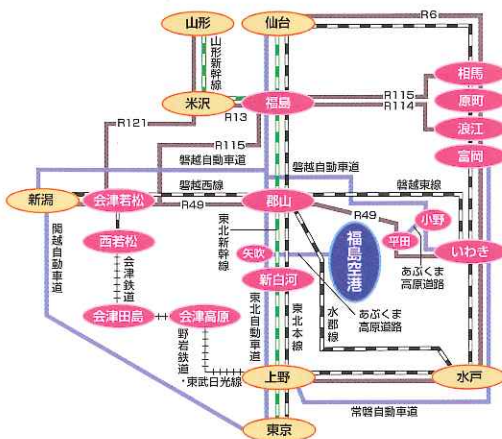
## 募集案内

対象者	地域医療に興味のある医学生
参加費用	無料 ※出発地から集合場所までの往復の交通費は各自御負担願います。
申込方法	必要事項を記載した申込書を福島県地域医療支援センターまでFAX又は電子メール等でお送りください。
申込期限	平成27年1月26日(月)
参加者の決定方法	先着順。申込者の数が定員を上回った場合は、調整を行う場合があります。なお、結果については、県から皆様へ電子メール又は電話でお知らせします。

## 日程

コース	日程	研修内容	募集人数	集合場所・日時
会津・南会津	2月26日(木) } 27日(金) 【1泊2日】	・地域医療現場の視察 ・医療従事者、地域住民との懇談 ・南会津地方消防本部の視察 ・郷土料理づくり 等	10人	JR福島駅西口バスプール 2月26日 午前8時25分 福島県立医科大学 2月26日 午前8時55分
相双	3月3日(火) } 4日(水) 【1泊2日】	・地域医療現場の視察 ・臨床研修医との懇談 ・地域の精神保健活動の視察 ・食の安全・安心の取組の視察 等	5人	JR福島駅西口バスプール 3月3日 午前8時55分 福島県立医科大学 3月3日 午前9時25分
県南	3月11日(水) } 12日(木) 【1泊2日】	・地域医療現場の視察 ・医療従事者、臨床研修医との懇談 ・特養老人ホームでの回診同行 ・白河市内見学 等	5人	JR福島駅西口バスプール 3月11日 午前8時25分 福島県立医科大学 3月11日 午前8時55分 JR新白河駅東口バスプール 3月11日 午前10時25分

## 福島駅までのアクセス



- 東北新幹線  
東京→福島 最短87分  
1時間あたり2～4本  
仙台→福島  
1時間あたり2～4本

- その他  
東京(東京駅・新宿駅)と福島駅の間は、路線高速バスやツアー高速バスが運行されています。

### 研修の詳細、参加申込等の総合窓口

福島県地域医療支援センター

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地(福島県立医科大学9号館2階)

電話 024-547-1711 FAX 024-547-1715

電子メール rmsc@pref.fukushima.lg.jp

福島県 地域医療体験研修 検索

### 研修担当

県南コース	県南保健福祉事務所総務企画課	電話 0248-22-5447
会津・南会津コース	会津保健福祉事務所総務企画課	電話 0242-29-5506
相双コース	相双保健福祉事務所総務企画課	電話 0244-26-1323